



2026年2月10日

## 各 位

会 社 名 株 式 会 社 一 蔵  
代表者名 代表取締役社長 河端義彦  
(コード: 6186 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役財務経理本部長 岡田孝二  
(TEL: 03-5297-5151)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2025年5月13日に公表いたしました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想数値の修正について

##### (1) 2026年3月期連結業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 20,886	百万円 450	百万円 424	百万円 235	42円67銭
今回修正予想（B）	19,472	△180	△145	△214	△38円76銭
増減額（B-A）	△1,413	△630	△570	△449	
増減率（%）	△6.8	—	—	—	
（ご参考）前期実績（2025年3月期）	19,932	123	105	△96	△17円58銭

##### (2) 修正の理由

和装事業におきましては、2025年4月にJTS事業本部とオンディーヌ事業本部を統合し、経営資源を集中したことにより、受注は引き続き堅調に推移いたしました。しかしながら、振袖の購買層が高校生を中心とした若年層へとシフトしたこと等もあり、当初の想定を上回ってレンタルの割合が大きくなりました。これにより、売上がレンタルの契約期間にわたり按分されることとなり、当期の売上計上額が減少することとなりました。結果として、売上高は前回発表予想を648百万円下回る見込みとなりました。

ウェディング事業におきましては、中国における失業率の上昇や若年層の消費マインドの低下により、結婚式需要の低下や価格競争の激化が顕著となっております。これにより、第3四半期連結累計期間における中国子会社での挙式の施行組数が、当初計画を90組下回ることとなりました。この結果、売上高は前回発表予想を765百万円下回る見込みとなりました。

売上高の減少に伴い、営業利益は630百万円、経常利益は570百万円、親会社に帰属する当期純利益は449百万円、それぞれ前回発表予想を下回る見込みであります。

**【見通しに関する留意事項】**

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上